
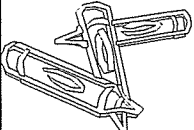


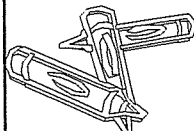
- 清掃
「きれいに掃除すること」
床、壁、棚、機械、工具、計測器などが対象
- 清潔
「ばいきん・きたないものや よごれを取り除き、きれいにしてある様子。
働く人や顧客に感動を与える

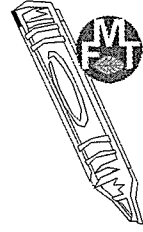


- 躰
「礼儀・作法を仕込むこと」
「決められたことを守る習慣づけ」

↑

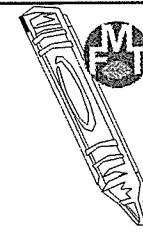
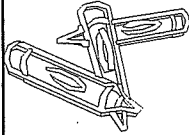
管理、監督者の責任





5Sのチェック

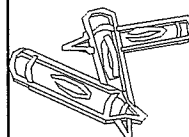
- 職場は書類が整理されているか
- 必要な書類がすぐ取り出されるか
- 院内の廊下には不要なものが置かれていないか
- 使用していない医療機器が職場に置かれていないか
- ナースステーションの掲示は整頓されているか
- 職場に掲示するものの掲示場所は決められているか
- 不要な掲示物が壁に貼られていないか
- 受付は患者さまが混乱しないようになっているか
- 汚れた制服を着ていないか
- 仕事の手順は標準化されているか
- ゴミ箱のごみのはみ出していないか



5Sを妨げる要素

- 現状で何が悪いの？
- 身の回りが整理されないのは俺の文化だ！
- 整理・整頓すると創造性がなくなる！
- 5Sと医療の質はどのように関係するの？

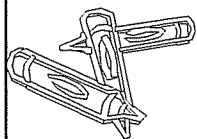
自分の家でも同じですか






5Sのできていない家

- 玄関の履物がばらばらである
- いつかは使うであろうものを持っている
- 新聞が散らかっている
- 綿ほこりが散見される
- テーブルの上がごちゃごちゃしている

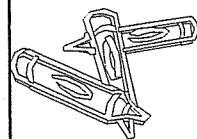


気になりませんか



5Sを妨げるもの

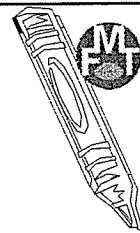
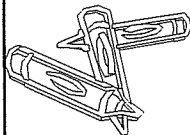
- 現状で何が悪いのか認識がない
- 身の回りが整理されないのは、自分の文化だと考えている
- 整理・整頓すると創造性がなくなると考えている
- 5S活動と医療の質とは関係ない



5Sの目的と効果

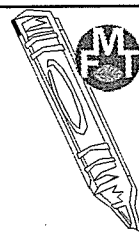
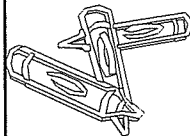
- 安全に対するリスクの低減に役立つ
- 患者さまへ感動を与える
- 気持ちよく仕事を行う
- 作業を効率的に行う

現場改善の原点



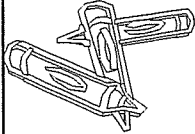
どのようなリスクがあるか

- 使用されない機器が現場に置かれている
 - ⇒ 間違った機器を使用する
 - ⇒ 作業場所が狭くなり、作業性が悪い
 - ⇒ 埃がたまる
- カルテが作業机に山積みになっている
 - ⇒ カルテが落下して混在し、患者様を間違える
 - ⇒ カルテを片付けるという無駄な作業が増える
- 電源コードが通路を横断している
 - ⇒ 足を引っ掛けて機器が停止して患者様に影響を与える
 - ⇒ 足を引っ掛けて怪我をする
 - ⇒ 機器を破損させる
- 作業手順どおり実施していない
 - ⇒ 医療事故が発生する
 - ⇒ インシデントが発生する



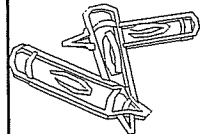
リスクの目の付け所

- 安全上問題ないか
- 落下しないか
- 作業性が悪くないか
- 混在しないか
- 薬の種類を間違えないか
- 患者さんに影響を与えないか



5Sの活動要素

- 職員の5Sに対する意識の醸成
5Sの教育、環境づくり、他の病院の見学
- 組織体制作り
推進組織の明確化、5S活動のルール作り、推進計画の作成
- 運営管理
推進計画の管理、5S活動の評価、表彰制度の活用



5S活動のステップ

項目	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目
1. トップ方針の明確化	⇒				
2. 組織体制の確立	⇒				
3. 職員への5S教育		⇒			
4. 5S基準の作成		⇒			
5. 現状把握(デジカメ)		⇒			
6. 改善活動			⇒		
7. 改善活動の定期評価			⇒	⇒	⇒
8. 最終評価(デジカメ)					⇒
9. 標準化					⇒

5S推進活動のステップ

手順1: トップ方針の明確化と外注業者を含めた要員への意識付け

手順2: 推進体制の確立

手順3: 職員への5S教育

手順4: 5S基準(方法論)の作成

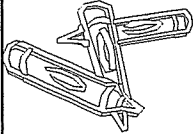
1) 整理の方法

(1) 整理の準備

- ・対象の設定
- ・目標の設定
- ・実効計画の立案

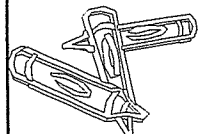
(2) 整理基準の作成

- ・要、不要の区分の基準の明確化
- ・分類の基準



(3) 不用品の一掃

- ・不要品の識別
- ・不要品の処分判定
- ・不要品の処分
- ・要品の分類



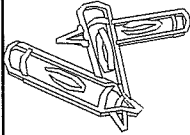
2) 整頓の方法

(1) 置き場の設定

- ・場所の設定
- ・レイアウトの設定

(2) 置き場の基準設定

- ・置く方向の設定
- ・表示の設定



3) 清掃の方法

(1) 個人のレベル

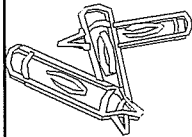
- ・個人の身だしなみ
- ・業務終了後の掃除

(2) 組織のレベル

- ・範囲、方法、程度の設定
- ・一斉片付け

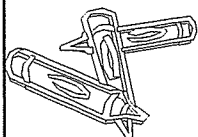
(3) 風土の改善

- ・汚れ発生源の発見と対策
- ・リーダーの関心と姿勢



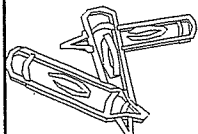
4) 清潔の方法

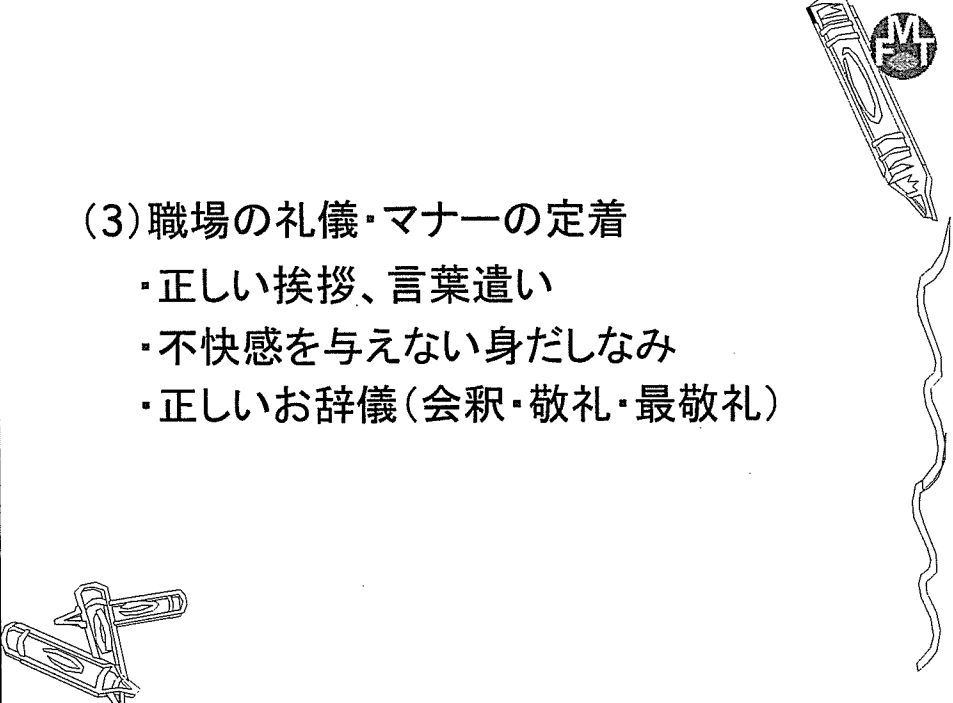
- (1) 整理の徹底と標準化
 - ・不要物の分別と判定・処分
- (2) 整頓の徹底と標準化
 - ・対象品毎の置き場所、位置、品名表示
- (3) 清掃の徹底と標準化
 - ・清掃方法、実施日、担当者の設定



5) 躰の方法

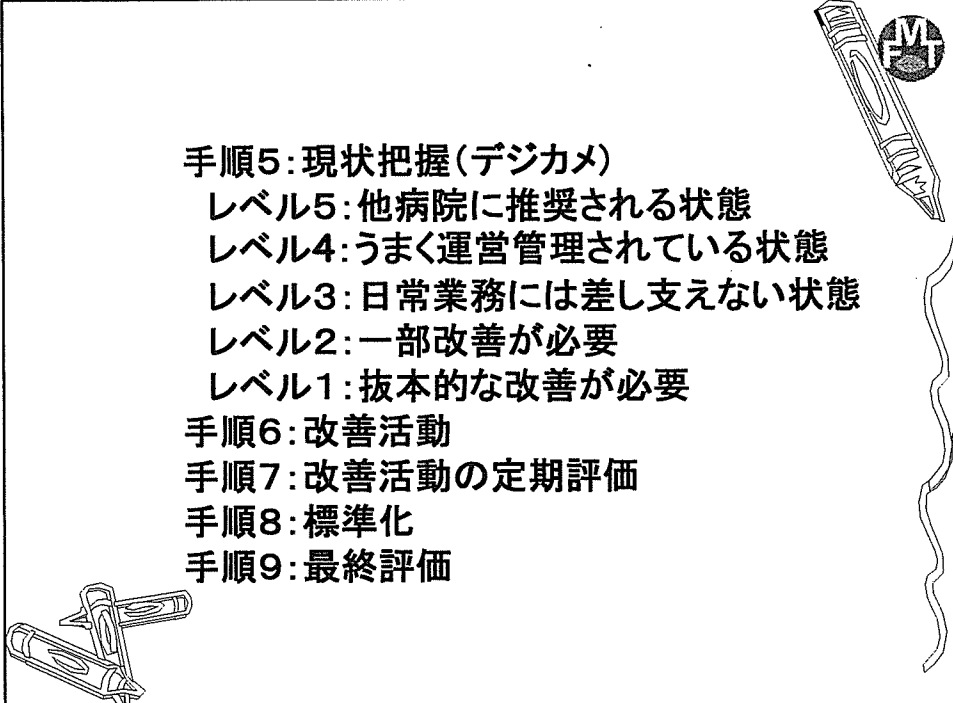
- (1) 就業規則の遵守
 - ・管理者の率先範の教示
 - ・ルール非遵守に至る原因の追究
 - ・遵守状況の確認
- (2) 職場のルールの遵守
 - ・決定・改定に対する全員のコンセンサス
 - ・ルール違反に対する相互チェック環境





(3) 職場の礼儀・マナーの定着

- ・正しい挨拶、言葉遣い
- ・不快感を与えない身だしなみ
- ・正しいお辞儀(会釈・敬礼・最敬礼)



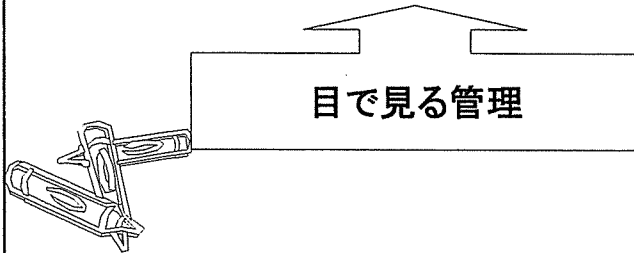
手順5: 現状把握(デジカメ)
レベル5: 他病院に推奨される状態
レベル4: うまく運営管理されている状態
レベル3: 日常業務には差し支えない状態
レベル2: 一部改善が必要
レベル1: 抜本的な改善が必要

手順6: 改善活動
手順7: 改善活動の定期評価
手順8: 標準化
手順9: 最終評価

5Sの管理方法

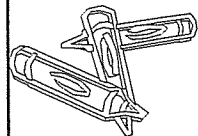
- 現状を写真で撮る
- 改善後の写真を撮る
- 現状と改善後が比較できるように並べる
- 職場に掲示する

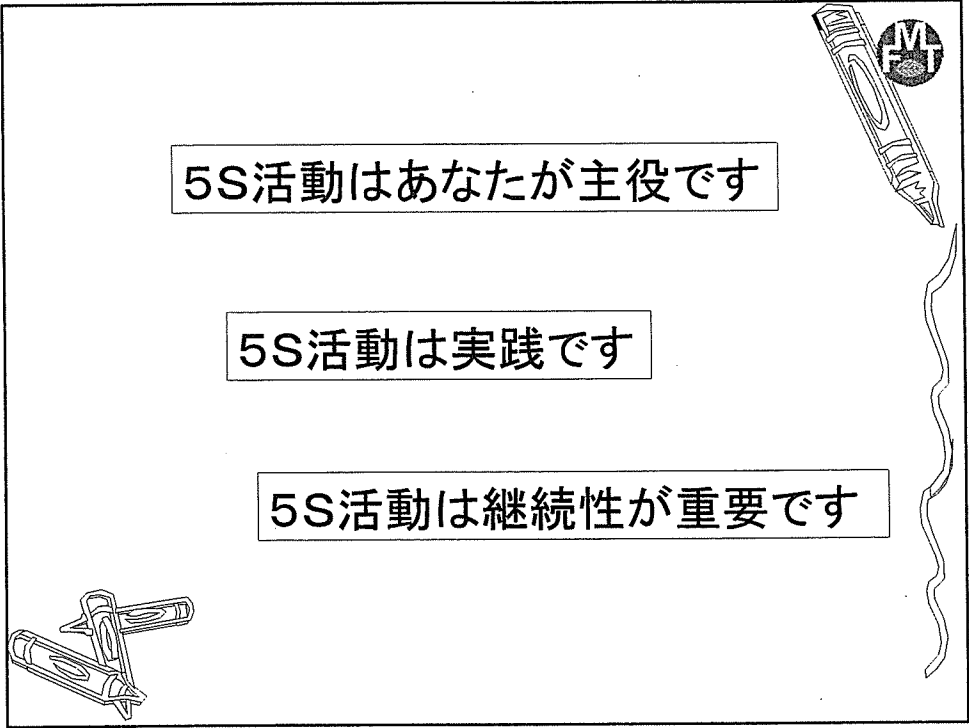
目で見える管理



5S活動のポイント

- 5Sは声掛け運動ではない
- 5Sはリスク評価活動である
- 5Sの目的は明確にする
- 目で見える管理を行う
- トップが率先垂範する





5S活動はあなたが主役です

5S活動は実践です

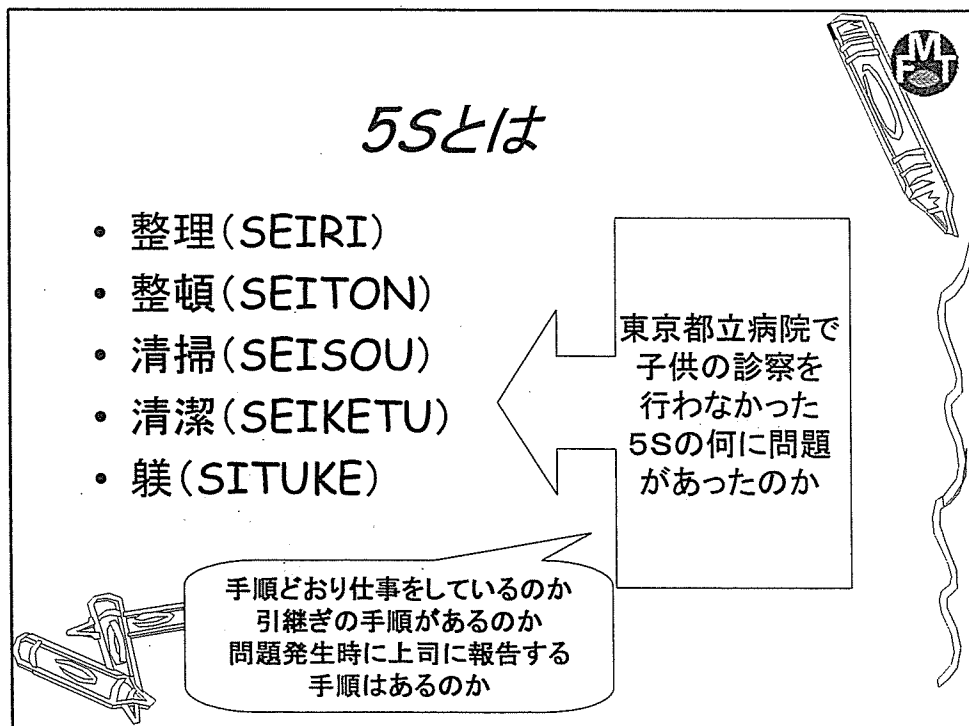
5S活動は継続性が重要です



FMT

効果的な5S活動の進め方 と実際

(有)福丸マネジメントテクノ
代表取締役 福丸 典芳



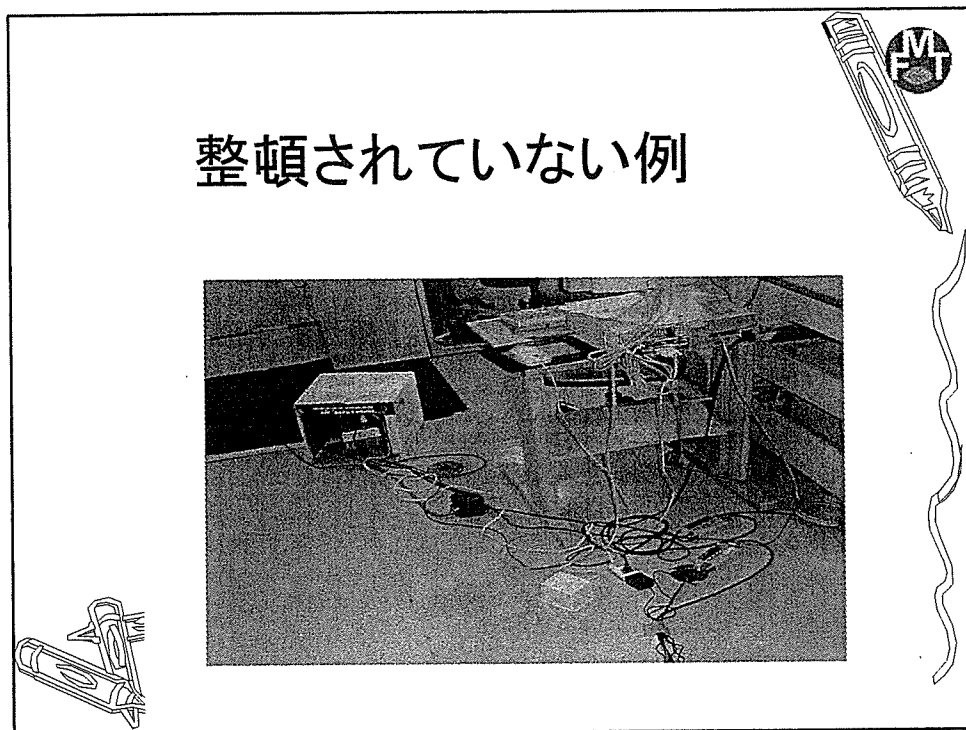
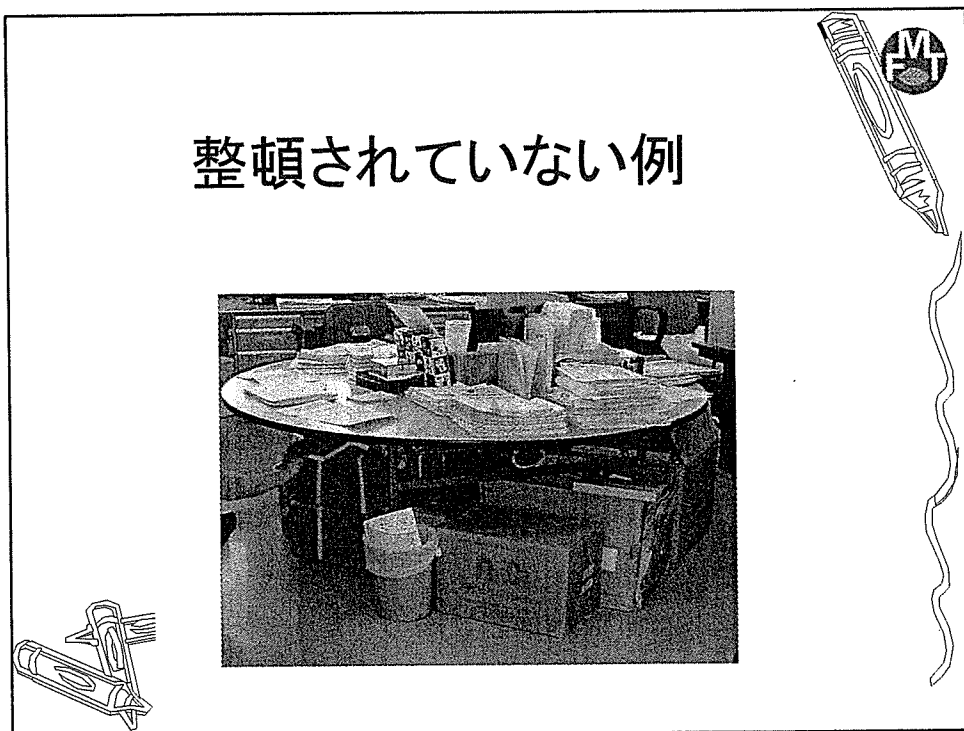
FMT

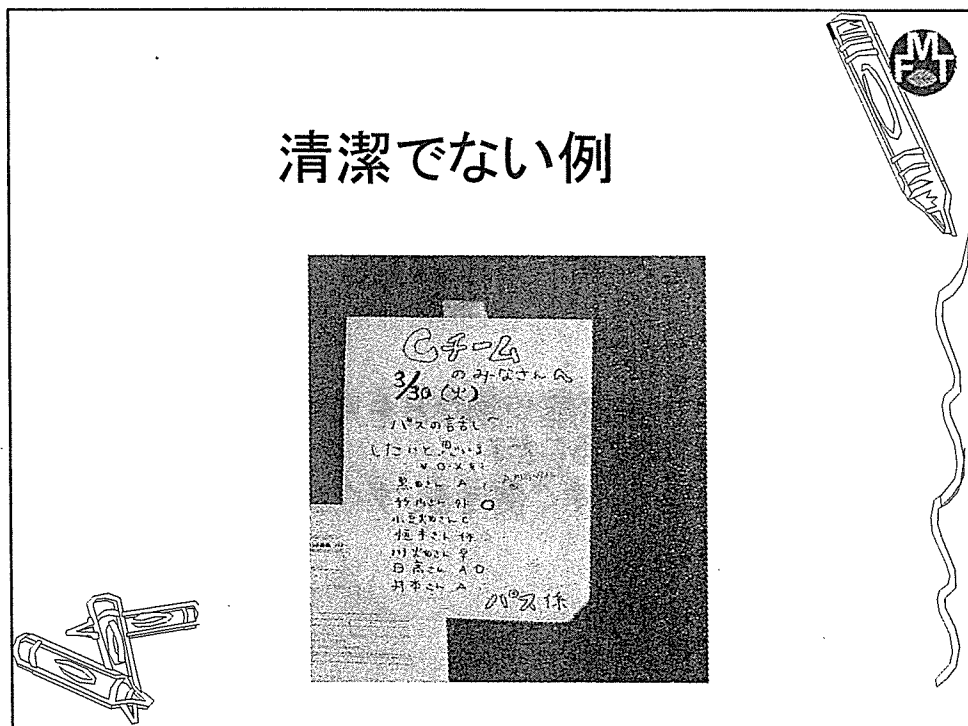
5Sとは

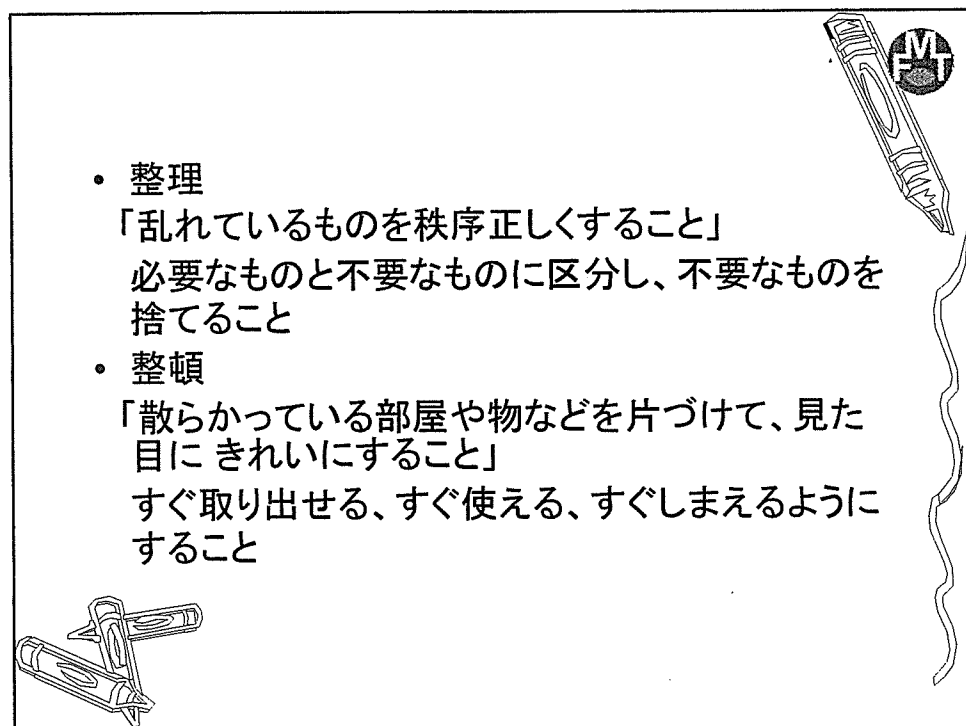
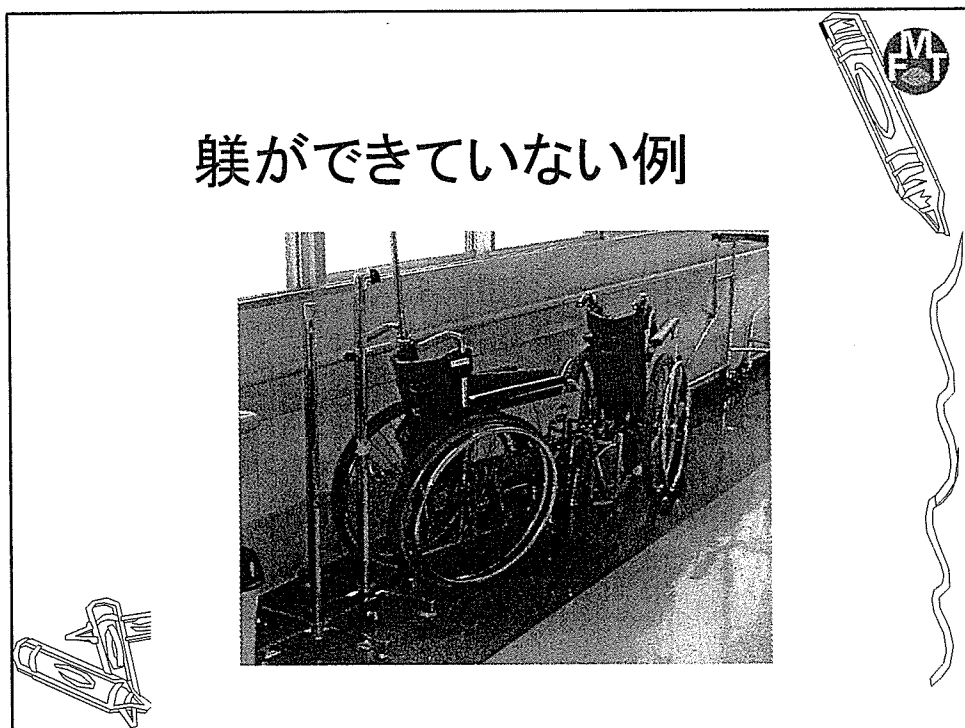
- 整理 (SEIRI)
- 整頓 (SEITON)
- 清掃 (SEISOU)
- 清潔 (SEIKETU)
- 躰 (SITUKE)


東京都立病院で
子供の診察を
行わなかった
5Sの何に問題
があったのか

手順どおり仕事をしているのか
引継ぎの手順があるのか
問題発生時に上司に報告する
手順はあるのか


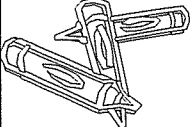




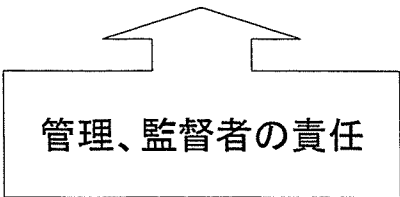




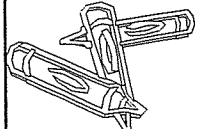
- 清掃
「きれいに掃除すること」
床、壁、棚、機械、工具、計測器などが対象
- 清潔
「ばいきん・きたないものや よごれを取り除き、きれいにしてある様子。
働く人や顧客に感動を与える

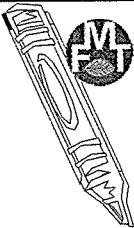


- 躰
「礼儀・作法を仕込むこと」
「決められたことを守る習慣づけ」



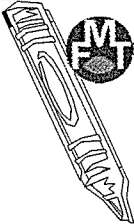
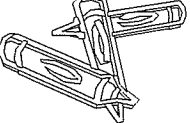
管理、監督者の責任






5Sのチェック

- 職場は書類が整理されているか
- 必要な書類がすぐ取り出されるか
- 院内の廊下には不要なものが置かれていないか
- 使用していない医療機器が職場に置かれていないか
- ナースステーションの掲示は整頓されているか
- 職場に掲示するものの掲示場所は決められているか
- 不要な掲示物が壁に貼られていないか
- 受付は患者さまが混乱しないようになっているか
- 汚れた制服を着ていないか
- 仕事の手順は標準化されているか
- ゴミ箱のごみのはみ出していないか

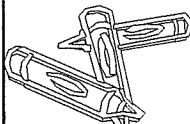



5Sを妨げる要素

- 現状で何が悪いの？
- 身の回りが整理されないのは俺の文化だ！
- 整理・整頓すると創造性がなくなる！
- 5Sと医療の質はどのように関係するの？



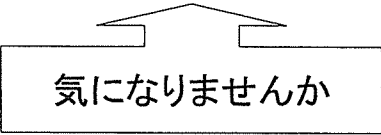
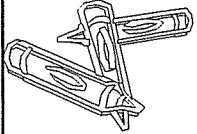
自分の家でも同じですか






5Sのできていない家

- 玄関の履物がばらばらである
- いつかは使うであろうものを持っている
- 新聞が散らかっている
- 綿ほこりが散見される
- テーブルの上がごちゃごちゃしている

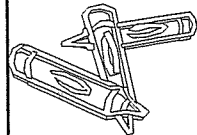


気になりませんか



5Sを妨げるもの

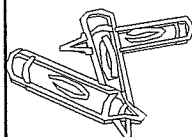
- 現状で何が悪いのか認識がない
- 身の回りが整理されないのは、自分の文化だと考えている
- 整理・整頓すると創造性がなくなると考えている
- 5S活動と医療の質とは関係ない



5Sの目的と効果

- 安全に対するリスクの低減に役立つ
- 患者さまへ感動を与える
- 気持ちよく仕事を行う
- 作業を効率的に行う

現場改善の原点



どのようなリスクがあるか

- 使用されない機器が現場に置かれている
 - ⇒間違った機器を使用する
 - ⇒作業場所が狭くなり、作業性が悪い
 - ⇒埃がたまる
- カルテが作業机に山積みになっている
 - ⇒カルテが落下して混在し、患者様を間違える
 - ⇒カルテを片付けるという無駄な作業が増える
- 電源コードが通路を横断している
 - ⇒足を引っ掛けて機器が停止して患者様に影響を与える
 - ⇒足を引っ掛けて怪我をする
 - ⇒機器を破損させる
- 作業手順どおり実施していない
 - ⇒医療事故が発生する
 - ⇒インシデントが発生する

